



▲北海道留萌高等学校吹奏楽部マーチングバンド「BlueSnow」のメンバー

第13回マーチングステージ全国大会 チームワークを大切に 念願の優勝を目指す！

2月22日(土)・23日(日)
神奈川県横須賀芸術劇場

平成25年10月20日(日)、札幌市で行われた第31回北海道マーチングバンドフェスティバル第2部で堂々の1位に輝き、2年ぶり2回目の全国大会への切符を手に入れた北海道留萌高等学校吹奏楽部マーチングバンド「Blue Snow」。

2月22日(土)・23日(日)、神奈川県横須賀芸術劇場で開かれる全国大会の前に、メンバー42人の練習にも熱が入ります。

現部長で2年生の祐川さんは「日ごろから笑顔を絶やさず、みんなの心を明るく一つにできるように心がけています。全道大会での反省点をしっかりとクリアし、私たちの持ち味であるチームワークを大きな力に全国大会では優勝を目指します」と力強く語ってくれました。

また、前部長で、この大会が最後となる秋葉さんは「大人数をまとめ上げる部長の大変さを実感しましたが、みんなの想いが一つになり、成し遂げることができたときの達成感の大きさは私にとって大きな経験となりました。後輩には、常に多くの人の応援と協力をいただくことで活動ができるということへの『感謝の気持ち』を忘れないでほしいと思います」と話してくれました。

皆さんの応援を背に、全国大会という大舞台の雰囲気にもまれることなく、留萌っ子の若さあふれる演奏と演技を余すことなく発揮してくれることでしょう。

北海道留萌高等学校 42・0730



北海道留萌高等学校吹奏楽部マーチングバンド
現部長(左) 祐川 沙紀さん(2年)
前部長(右) 秋葉 真世さん(3年)



▲本番を前に練習に余念がないメンバー

オロロン・スノーパラダイス2014 雪の迷路は夢いっぱい 留萌の冬を楽しもう！

2月7日(金) 午後5時～午後7時30分
8日(土) 午前10時～午後7時30分
9日(日) 午前10時～午前12時
留萌合同庁舎駐車場など



オロロン・スノーパラダイス実行委員会
雪のわくわく迷路グループリーダー
居原田隆夫さん

留萌の厳しい冬を楽しむオロロン・スノーパラダイス2014(以下スノパラ)が、2月7日(金)から9日(日)まで留萌合同庁舎駐車場などを会場に開かれます。今回で3回目を迎えるスノパラは、「雪のわくわく迷路」、「キャンドルナイト」、「けあらしの里」の主に3つの事業で構成されます。

スノパラの目玉事業でもある「雪のわくわく迷路」のグループリーダーを務め、迷路製作の指揮をとる居原田さんは「スノパラには1回目から参加しています。今回は『雪の迷路はわくわくシューター』をテーマに、留萌建設協会の有志5人を中心に製作に臨みます。迷路は集めた雪を高さ2メートル、縦横25メートルの直方体に押し固め、設計図をもとにパワーショベルで削り出し、約3週間かけて製作します。迷路の全長はおよそ200メートル。道北一の距離を誇り、ゴール部分に滑り台を設けるなど工夫を凝らしています。子どもたちの笑顔を見ると、作業の疲れも吹き飛びますね」。さらに「今後も、イベントを冬の風物詩に育てたいという想いと、製作風景の映像を子どもたちに見てもらったり、高校生が製作できる機会を設け、建設業に関心を持ってもらいたいという想いを大切にしながら事業に携わりたいですね」と話しています。



▲幻想的な雰囲気を演出するキャンドル

実行委員会では、さまざまなゲームやアトラクションを用意しています。また、夜間はキャンドルに明かりがとまり幻想的な雰囲気を演出します。

ぜひ家族や友人とスノパラの3つの事業に参加し、楽しい冬の思い出をつくりませんか。

北海道留萌振興局地域政策課内
42-8425



▲迷路のコースを丁寧に削り出すパワーショベル



▲全長200メートルの迷路に子どもたちは大喜び